

KANSAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA

THE 43RD SUBSCRIPTION CONCERT

愛されて、響きあって、25年。

TOYOTA COMMUNITY CONCERT
第1190回

✿ Heartful Concert ✿

関西シティフィルハーモニー交響楽団

第43回定期演奏会 | 2007年3月18日【日】14:30
ザ・シンフォニーホール

主催—関西シティフィルハーモニー交響楽団

協賛—大阪府トヨタ販売会社グループ・トヨタ自動車株式会社

社会福祉法人大阪府社会福祉協議会

株式会社 ASK PLANNING CENTER

協力—社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

関西シティフィルハーモニー交響楽団 第43回定期演奏会



2006年9月17日、ザ・シンフォニーホール 第2回定期演奏会

関西シティフィルハーモニー交響楽団

KANSAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA
(社)日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体／大阪文化団体連合会会員団体

1974年各大学オーケストラの卒業生を主たるメンバーとして、関西OB交響楽団の名称で結成。1994年創団20周年を機に現在の団名に改称。“アマチュア精神に基づく、グレードの高い社会人オーケストラ”をモットーに、年間2回の定期演奏会をはじめファミリーコンサート等を、意欲的に開催しています。近年は指導体制の充実に力点を置き、有能なプロの先生方を指揮者や指導スタッフに招請して研鑽を積んで参りました。中でも、1998年より4年間、ズラタン・スルジッチ氏(現ドブプロヴニク交響楽団 首席指揮者)を常任指揮者に招聘し、その指導を仰いだことにより「音楽的に大きな飛躍を遂げた」との評価を内

外から得ております。また組織としても「若い力」を積極的に運営面に活かし、“常に成長するオーケストラ”を目指して努力を重ねております。2004年8月に大阪市で開催された「全国アマチュアオーケストラフェスティバル大阪大会」では、開催主管団体として、当団の組織力を遺憾なく発揮し、フェスティバル成功の原動力として、連盟をはじめ全国のアマチュアオーケストラ各位から、高い評価と大きな賛辞を頂くことができました。毎週土曜日の夜、指揮者やトレーナーの先生方の指導のもと、真剣な練習を行っており、現在団員数は、約100名を有します。

ごあいさつ



阿保 幸雄 Sachio Abo
関西シティフィルハーモニー交響楽団 団長

本日は、私共の第43回定期演奏会によるご越し下さいました。

今日指揮をして下さる栗田博文氏との出会いは、3年前当団が主管団体として当地で開催した日本アマチュアオーケストラ連盟の全国フェスティバル大阪大会に遡ります。

このときは、全国から集まった選抜メンバーによるオーケストラを、氏の卓越した音楽性によって僅か3日間の限られた練習時間の中で、見事にシベリウスの第2交響曲を仕上げして下さいました。

このフェスティバルのお世話をしていた当団の団員が様に感動するとともに、氏の温かいお人柄にも心酔し、私共のオーケストラの定期演奏会でも是非ご指導を仰ぎたいと切望した処、ご快諾を頂き本日のコンサートが実現した次第です。

東京から泊り込みで度々来阪くださった栗田氏の熱心な指導に報いられるような本日の演奏であたいと願っております。

また、当団の常任指揮者としてお馴染みのギオルギ・パプアゼ氏(通称ゴギさん)に、

今回はヴァイオリンのソリストとしてご登壇頂き、当団のチェロパートのご指導を仰いでいるギア・ケオシヴィリ氏と二重協奏曲をご披露下さることが実現いたしました。いつもは氏の指揮棒にしか接していない(但し練習中にコンミスのヴァイオリンを取り上げて、演奏の見本を示されることはよくあるのですか)我々にとっても大いに楽しみます。

ゴギさんとギアさんは、トビリシ弦楽四重奏団のメンバーとして恒々息の合った合奏をしておられる仲ですので、つたない私共を引き立てて聴き応えのあるプログラムにして頂けることを大いに期待しております。

なお、当演奏会は「ハートフルコンサート」と銘打ち、オーケストラのコンサートを気軽に親しんで頂くことを目的として、大阪府トヨタ販売会社グループトヨタ自動車株式会社の支援を得て開催させて頂いております。

末筆となりましたが、ご来聴の皆様方には今後とも当団に対し、温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

指揮—栗田博文
管弦楽—関西シティフィルハーモニー交響楽団

シベリウス

交響詩集「レミンカイネン(4つの伝説曲)」より
レミンカイネンの帰郷

ブラームス

ヴァイオリンとチェロの為の二重協奏曲

1. Allegro
2. Andante
3. Vivace non troppo

独奏 ギオルギ・バブアゼ ヴァイオリン
ギア・ケオシヴィリ チェロ

ブラームス

交響曲第2番 二長調

1. Allegro non troppo
2. Adagio non troppo
3. Allegretto grazioso
4. Allegro con spirito

(楽譜協力:トヨタミュージックライブラリー)

1961年、神奈川県小田原市に生まれる。東京音楽大学指揮科を経て、東京音楽大学指揮研究科を修了。在学中より外山雄三氏のアシスタントコンダクターを務め研鑽を積む。1988年、第23回東京国際音楽コンクール指揮部門において第1位優勝を果たし、一躍注目を集める。翌年、新星日本交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、札幌交響楽団を指揮しデビューを飾る。以後、群馬交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団等、国内主要オーケストラを指揮する。1989年に渡欧。同年、イタリアにおいて第1回アントニオ・ペドロッティ国際指揮者コンクールに入賞し国際的な評価を確立した。1992～1996年、神奈川フィルハーモニー管弦楽団指揮者を務める。この間、1995年5月にフィンランド・ヘルシンキにおいて開催された第1回シベリウス国際指揮者コンクールの最高位に輝く。同年9月にはフィンランド放送交響楽団より招かれヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。以後、ヘルシンキフィルハーモニー管弦楽団等に客演し、指揮者としてのキャリアを着実に積んでいる。また、国内外の指揮活動とともに、これまでに、東京音楽大学大学院、愛知県立芸術大学および大学院の講師を歴任。2007年4月からは、国立音楽大学客員講師に就任予定。後進の指導にも力を注いでいる。今後の活躍がさらに注目される指揮者である。

栗田博文
指揮

シベリウス

交響詩集「レミンカイネン(4つの伝説曲)」よりレミンカイネンの帰郷

レミンカイネンとは、フィンランドに伝わる叙事詩「カレワラ」に登場し、ワイナモンネン、イルマリネンと共に活躍する主要人物です。シベリウスはこのレミンカイネンを主人公として、全4曲からなる「レミンカイネン組曲(4つの伝説曲)」を書いています。第1曲【レミンカイネンとサーリの乙女】、第2曲【トゥオネラの白鳥】、第3曲【トゥオネラのレミンカイネン】、そして第4曲が、今回演奏する【レミンカイネンの帰郷】です。

～組曲のあらすじ～

北方の地のポホヨラの娘に恋したレミンカイネンが、3つの冒険を課せられ、それを成し遂げたら娘を与えられる、という約束を交わします。彼は第1、第2の冒険をクリアしましたが、残念ながらトゥオネラ河の白鳥を射る、という第3の冒険に失敗し、毒蛇に殺され、身体は切り刻まれて、トゥオネラ河に投げ込まれてしまいます。奇しくもバラバラになったレミンカイネンですが、レミンカイネンの母が、大きな熊手を使ってその河をかきまわし、息子の肉片や骨、血管を拾い集めてくっつけ、呪文で彼を生き返らせてしまいます。

蘇ったレミンカイネンは、その後母の大きな愛情に説得されて故郷に帰っていきます。グロテスクですがメルヘンチックな物語ですね。興味のある方は、「カレワラ」の日本語訳を探してお読み下さい。

曲は、息子が死んで暗くドロドロした印象の冒頭から、母が必死で息子の体を探しまわって迷走する様子を弦楽器やファゴットが必死で表現する中盤、転調してやたらと明るく故郷へ帰っていく終盤、と物語に沿って流れていきます。

演奏時間約6分。この約6分にしか出番のないメンバーが数名。私も4ヶ月間、約6分の為だけに往復3時間以上かけて練習場へ通い、時には明らかに遅刻と分かりつつ駅から猛ダッシュして冬なのに汗びっしょりの半そで1枚で合奏に臨み、合宿では練習と練習の空き時間が2時間30分。そんな約6分に賭ける、我々の並ならぬ意気込みを感じ取って頂ければ幸いです。

岡田 啓(オーボエ)

ブラームス

ヴァイオリンとチェロの為の二重協奏曲

19世紀末の“音楽の都”ウィーンで活躍したドイツの大作作曲家ヨハネス・ブラームス(1833～1897)は、みなさまも存じの通り大変なじみの深い作曲家で、その作品の数々が、こぶしを利かせるようななごっこい旋律や、どっしりとした重厚な響きが多いことから、作風がよく「演歌」に例えられます。

実はブラームス自身も「演歌」によく出てくる「生まれは貧乏、生き方は不器用、性格は頑固者だけど人情味あふれる熱血オヤジ」のような人で、例えば交響曲第1番の作曲に納得がいくまで20年もの年月を費やしたり、作曲活動への障りや出生のコンプレックスから良家の子女との婚約を解消したり、太った体を駆使した激しいモーションでオーケストラを指揮し、太鼓の叩き方を教えるためにその皮を叩き破ってまで熱血指導するなど、人生そのものが熱くも哀愁漂う「演歌」そのものでした。

今日演奏するこの曲「ヴァイオリンとチェロの為の二重協奏曲」も御他聞に洩れず、始めの10秒間でみなさまを「演歌」の世界に誘えるほどの「なごっこさ」と「重厚さ」を持った傑作の一つです。特にこぶしの利いた旋律を聴かせる独奏ヴァイオリンと独奏チェロの競演は、まさに都はるみと北島三郎の濃厚なデュエットを思わせるほどの「熱唱」ぶりです。

この曲は、ブラームスが、1887年に仲違いしてしまった親友のヴァイオリニスト、ヨーゼフ・ヨアヒム(1831～1907)との友情の復活をねらうべく、本来はオーケストラのみの交響曲にする予定だった曲をわざわざヴァイオリンとチェロの二重独奏を含む協奏曲に書き換えたもので、その際にヨアヒム本人に独奏部分のアドバイスを請うた上で、初演の独奏者として演奏してもらったことにより、再度もとの親交を築くことができたというエピソードがあります。

この曲の特徴は、(19世紀末にはまず見られなかった)ヴァイオリンとチェロの二重「熱唱」独奏に加えて、それを支えるオーケストラまでもが熱い「演歌」ぶりを発揮し、演奏者全体が渾然一体となって3つの楽章に渡る「熱唱」を繰り広げるところですが、この特異な音楽形式は、17～18世紀頃のバロック音楽の一大ジャンルだった合奏協奏曲(複数の独奏者とその他の合奏が対等に競演し合う組曲)や、その後に興った協奏交響曲(複数の独奏者がいる交響曲)の影響を受けたものです。

この曲を作曲したと当時、熟年真っ盛りのブラームスは、新たな音楽形式を生み出そうとする前衛的な作曲家が多い中で、前から興味を示していた古典的な音楽形式への傾倒をま

すます深めており、生来の妥協を許さぬ頑固さも相まって、彼の音楽の支持者ですら戸惑うようなマニアックな作風を示すようになっていました。

実際にこの二重協奏曲もそのうちの1曲で、初演当時は熱烈な支持者からも(現代風に言うと)「マニアックすぎる」だの「技術オタクの自己満足だ」だの散々に酷評されましたが、彼独特の熱くも哀愁漂う「演歌魂」は古典的な音楽形式の中でも埋も

れることなく、重厚な「いぶし銀」の輝きを放っています。

本日の演奏の指揮者の栗田先生や、独奏者のゴギさん(ヴァイオリンのギオルギ・バブアゼ氏)、ギアさん(チェロのギア・ケオンヴィリ氏)を始め、我らが関西シティフィルもブラームスに負けないほどの「演歌魂」を持った、熱くもねちっこい面々ばかりです。その重厚な「熱唱」を心ゆくまでお楽しみくださいませ!

岩田 倫和(チェロ)

ブラームス 交響曲第2番 二長調

当 団には決まりがあって、定期演奏会のために一度選曲された曲は、その後の十年間、再び選ばれることはない。そして、中でも人気が高い曲は、そんな“時効”の後すぐに再選される。ブラームスが作曲した四つしかない交響曲群は、まさにそんな曲の代表といえる。

ブラームスは、第1交響曲を二十年以上かけて完成させた(1876年9月完成)。一方で、この第2交響曲は約三ヶ月で書かれたといわれる(1877年6~9月)。1877年6月から9月までの間、四十四歳のブラームスは、避暑のためオーストリアのペルチャッハという湖畔の村で過ごした。景観に優れたペルチャッハを気に入ったブラームスは、そこで三年続けて夏を過ごしている。第2交響曲はこの避暑の間に作曲されており、景色の美しさと、そこでのブラームスの平穏な気分とが、曲全体に反映されていると考えられる。なお、この地では、他にもヴァイオリン協奏曲やヴァイオリンソナタ第1番「雨の歌」等が作曲された。

この第2交響曲全体を通じて音楽が淀みなく流れ、また、全楽章を貫く統一感がありいかにも短期間で書かれた曲らしい。そして、重厚でドラマチックな第1交響曲とは対照的に、田園的な平和さに満ちているといえる。オーケストレーションについては、チューバまで含まれる大編成のものであるが、それぞれの楽器は飽く迄も室内乐的に扱われている。

・第1楽章 Allegro non troppo 二長調 3/4

冒頭のチェロ、コントラバスによる動機(D-Cis-D)に導かれ、ホルン、木管により第1主題が提示される。この動機(D-Cis-D)は、全曲を通じて現れる基本動機であり、様々な形を変えては反復して出現する。印象的な第2主題はピアノを三度下に従えてチェロにより歌われる。そして、これらから成る提示部は二度繰り返される。

展開部では、基本動機及び第1主題を素材とした自由な発展が聴かれる。再現部では、ホルンからオーボエへ、また、木管から弦楽器へと役者を替えて提示部主題が再び現れる。

コーダでは、弱奏弦及びホルンにより長いフレーズが奏され、その後、tranquillo(静かに)で楽章が結ばれる。

・第2楽章 Adagio non troppo 四長調 4/4

長調で書かれている楽章であるが霧に閉ざされたような、深く思索するような、もの暗い響きが全体に漂う。途中には、弦楽器による基本動機を含む旋律が現れる。

・第3楽章 Allegretto grazioso ト長調 3/4

メヌエット形式。全体に愛らしいという形容が相応しい楽章といえる。チェロによるピチカートのアルペジオにのって、オーボエが素朴だが魅力的な旋律を奏でる。ここでの旋律は基本動機の反行形とも解釈できる。

1877年の初演ではこの第3楽章の後拍手が鳴り止まず、この楽章だけが初めから再度演奏されたという(本日はそのまますぐに4楽章へ)。

・第4楽章 Allegro con spirito 二長調 2/2

sotto voce(小さな声で)での弦のユニゾンにより囁くように始まる第1主題は、基本動機を変形させたものともいえる。全管弦楽の強奏により第1主題が繰り返され、再び静まったところから弦楽器によりlargamente(ゆったり遅く)で第2主題が奏でられ、その後華やかに盛り上がる。この第2主題もやはり基本動機に基づいたものとなっている。

そして、再び第1主題がsotto voceで戻ったところから展開部となり、さらに再び戻るところから再現部となる。それぞれの主題が少しずつ変化しつつも、全体の統一感は全く失われない。

コーダでは、クライマックスで金管楽器による輝かしい響きが鳴り渡るまで、主題の紡ぎ合わせ、重ね合わせが、ドラマチックに且つ“計画的に”組み立てられる。そして、高揚の中で曲が結ばれる。

安彦 高志(ホルン)



ギオルギ・バブアゼ
George BABUADZE
ヴァイオリン

1962年グルジア共和国トビリシ生まれ。トビリシ国立音楽院にてシウカシェヴィリ教授にヴァイオリンを、オディセイ・デミトリアディ氏に指揮を学ぶ。モスクワにてボロディン弦楽四重奏団のベルリンスキー氏に師事。1986年より5年間パトゥーミ市交響楽団の指揮を務める。1990年よりグルジア音楽協会室内管弦楽団の芸術監督および首席指揮者を務め、フランス、ドイツへ演奏旅行。その他、国内外におけるオーケストラのヴァイオリン奏者としてイタリア諸都市で演奏する傍ら、グルジア弦楽四重奏団のメンバーとしても活躍。1996年より大阪シムフォニカー交響楽団のコンサートマスター、2001年10月より関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任。2002年4月より京都市立芸術大学ヴァイオリン専攻非常勤講師も務める。トビリシ弦楽四重奏団メンバー。2005年より、関西シティフィルハーモニー交響楽団常任指揮者就任。

1962年グルジア共和国生まれ。5歳よりグルジア国立音楽学校で英才教育を受けトビリシ国立音楽院に進む。在籍中、1979年グルジアチェロコンクール優勝。1981年コーカサス音楽コンクール第2位。1981年より7年間グルジア放送交響楽団の首席奏者としてドイツ、スペイン、フランス、ポーランドで演奏。かたわらグルジア弦楽四重奏団、ルスタヴィ弦楽四重奏団等のメンバーとして活躍。CBSソニーより4枚のCDをリリース。1984年トビリシ音楽院卒業後専任講師として、トビリシ国立音楽院、グルジア芸術アカデミー等において、チェロ、弦楽四重奏、室内楽の指導にあたる。1995年ロシアのマチュラータ・オペラ交響楽団のオーケストラで全弦楽器の1位を得て首席奏者として在籍。また、ミラノのグド・カンテッリ弦楽合奏団のメンバーとしてヨーロッパ各地をツアー。1996年大阪シムフォニカー交響楽団首席奏者として来日。2001年からは関西フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を務める。2001年リサイタルにおけるライブCDをリリース。2003年より大阪国際音楽コンクール審査員。2006年ノロアバム「クターン」をリリース。現在ソリストとしても、またトビリシ弦楽四重奏団のメンバーとして活躍している。



ギア・ケオシヴィリ
Gia KHEOSHVILI
チェロ

関西シティフィルハーモニー交響楽団

■VIOLIN

◎西田 美音子
稲谷 亜季子
稲葉 宏己也
岩井 雅樹
岡崎 鈴代
◎小野寺 慶太
◎加藤 孝太
加藤 裕紀子
川本 志史子
河盛 晶子
神田 靖栄
北村 祥子
坂元 美保子
佐向 恵子
島津 恭子
中川 雅登
中谷 日出夫
中波 千代里
西川 友理子
西橋 本美彦
花平 美佳子
藤森 山吉 裕弓子

■VIOLA

秋山 雄
井上 訓
入江 隆
太田 真紀子
岡野 健介
小川 端成
高田 中景
◎豊島 直子
福本 文治
松宮 光友
宮崎 友彰
永田 佳子 (賛助)

■VIOLINCELLO

◎安彦 郁
阿保 幸雄
岩田 保倫
上田 真紀子
奥野 平素人
小坂 元大
豊島 正三
富樫 本誠
橋本 美代子
藤井 綾

■DOUBLE BASS

安彦 哉子
稲葉 杏典
岡田 正一
岡谷 一豊
長秋 善正
◎安渡 近子
渡辺 昭一

■FLUTE

菱野 愛
◎多田 均
宗吉 博史
西田 希子

■OBOE

岡田 啓
勝山 貴美子
◎酒井 洋
西山 健市
◎波留 ひとみ

■CLARINET

打田 正樹
栗山 明子
◎細野 範子
山中 聡子

■FAGOTT

◎一瀬 圭子
竹内 郁夫
山科 みどり

■HORN

安彦 志洋
織田 克星
酒井 星子
西山 順子
廣橋 麻理子
◎山科 幸生
山部 幸義

■TRUMPET

残熊 祐治
西川 倫史
◎廣橋 誠司
森修
山田 浩之

■TROMBONE

柏岡 亨
◎金正 昌信
岡田 明
松田 齊

■PERCUSSION

橋本 淳士
◎田村 千春
吉田 恭一
山原 健一 (客演)

□団長

阿保 幸雄

□副団長

柏岡 亨

□運営委員長

山科 幸生

□チーフパトリリーダー

廣橋 誠司

(兼インスペクター)

□インスペクター

小野寺 慶太

□総務

岡崎 雅樹

坂元 正三

富樫 誠

□会計

上田 真紀子

田村 千春

□人事

山本 真弓

□IT

岩田 倫和

□ライブラリアン

井戸 義訓

□渉外

森 修二

□楽器

西川 倫史

□団費

田中 景子

□広報

細野 巖

□友の会

佐向 恵子

□会計監査

長岡 豊

□相談役

松田 齊

□常任指揮者

ギオルギ・バブアゼ

□トレーナー

池田 重一

岩井 英昌

高谷 野里

田本 撰

□

中谷 葉子

橋本 口村

林松

村松

□

安真洋

子弘也

介

◎…コンサートマスター

○…パトリリーダー

関西シティフィルハーモニー交響楽団 | 宮崎バレエスタジオ公演

2007年 6 | 3 [日]

午後3時開演予定
門真ルミエールホール

指揮—高谷光信
バレエ—宮崎バレエスタジオ

チャイコフスキー：バレエ「眠れる森の美女」全幕

関西シティフィルハーモニー交響楽団 | 第44回定期演奏会

2007年 9 | 24 [月・祝]

午後2時30分開演予定
ザ・シンフォニーホール

指揮—ギオルギ・バブアゼ
ピアノ—鈴木謙一郎

ワーグナー：歌劇「タンホイザー」序曲
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番
シューベルト：交響曲第8番(旧9番)「グレート」

関西シティフィルハーモニー交響楽団 | 第6回ファミリーコンサート

2008年 1 | 20 [日]

午後3時開演予定
池田市民文化会館 アゼリアホール

指揮—ズラタン・スルジッチ
ソプラノ・ソロー榎 水枝 バルトン・ソロー油井宏隆
合唱—関西シティフィルハーモニー合唱団

ワーグナー：歌劇「タンホイザー」ハイライト
チャイコフスキー：交響曲第4番

団員募集の
お知らせ

● ヴィオラ

急募

練習日時 毎週土曜日 夜6:30~9:30
練習場所 北出音楽事務所(JR・京阪 京橋駅から徒歩10分)
お問い合わせは事務局まで[072-958-4585]
なお、当団のホームページでも最新の団員募集情報を公開しております。

関西シティフィルハーモニー交響楽団友の会
会員募集のお知らせ

当団では「友の会」の会員を募集致しております。会員になられますと ■**当団主催演奏会のご案内**
■**特別優待価格でご入場** ■**友の会特別席のご用意** 等の特典があります。入会金、会費無料!!

友の会会員 お申し込み方法

*はがきでの演奏会のご案内をご希望の方……パンフレットに折込の申し込み用紙にてお申し込みください。お問い合わせは事務局までお気軽にどうぞ[事務局072-958-4585]
*メールでの演奏会のご案内をご希望の方……只今、メールでの演奏会のご案内およびインターネットでチケットのお申し込みができるよう準備中です。詳細は当団ホームページをご覧ください。折込の申し込み用紙ではお申し込みできませんので、ご注意ください。
・友の会のみならずご自身の個人情報は、演奏会のご案内など、当団の諸活動に關係する用途以外には、一切利用致しません。

関西シティフィルハーモニー交響楽団ホームページ

<http://kcpo.jp>

(2007年2月アドレスを変更しました)

TOYOTA



感動の数だけ、 音楽がある。

1981年から始まった「トヨタコミュニティコンサート」、
トヨタと全国のトヨタ販売会社グループは
“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”を目的に、
全国のアマチュアオーケストラ活動を
応援しています。

**大阪府トヨタ販売会社グループは、
アマチュアオーケストラ活動を応援しています。**

大阪府トヨタ販売会社グループ

大阪トヨタ自動車 大阪トヨペット トヨタカローラ南海 トヨタカローラ大阪 トヨタカローラ浪速
トヨタカローラ新大阪 ネットトヨタ北大阪 ネットトヨタ新大阪 ネットトヨタニューリー北大阪
ネットトヨタ大阪 ネットトヨタ中央大阪 ネットトヨタ南海 ネットトヨタいずみ南海

トヨタ自動車株式会社

トヨタコミュニティコンサートの情報はインターネットでより詳しくご覧いただけます。

www.toyota.co.jp/tcc/